

# タンネウシ 8 月号

## 平成17年度 発掘調査の進捗状況報告

平成17年は4月から、国道334号改良工事に伴う緊急発掘調査ウトロ遺跡（ウトロ東）を調査していました。現在は、昨年、テレビや新聞などマスコミでも取り上げられた来運1遺跡の重要遺構（焼けた建物遺構）を調査中です。7・8月の間、調査を行います。9月からは再びウトロ遺跡に戻り、ウトロ市街下に眠る先史の村の跡を探る調査を継続します。

そこで今回は6月まで実施したウトロ遺跡の様子と現在調査中の来運1遺跡の様子を報告します。ウトロ遺跡では、主に縄文文化期（約2,100年前頃）の生活痕跡を発見しました。竪穴住居跡やお墓、川かあるいは水が溜まっていた跡などが見つかりました。写真は縄文文化期の竪穴住居跡です。中央に見える黒い土は火を燃やした跡（炉）に残っていた炭の広がりです。住居の大きさは直径6mくらいの円形をしていました。調査終了当日、住居の壁際からお墓が見つかりましたが、どうにか無事終了することができました。調査の結果、6月末時点で、竪穴住居1軒、土壇墓1基、土壇8基、焼けた土の跡（焼土跡）が数箇所見つかっています。

来運1遺跡は7月から調査が始まり、現在は炭化材が埋もれていると推察される黄色ローム質土の広がりを確認し、その土の除去を開始しているところです。黄色ローム質土の広がりを計測したところ、長径約12~14m、短径12mの円ないし楕円形になることがわかりました。昨年の炭化材の広がりから推測した大きさは7mほどの円ないし楕円形でしたからほぼ倍の長径となる巨大な縄文時代中期の遺構です。写真中央に見られる白っぽい範囲がこの遺構です。7月15日現在の調査状況から、ほぼ写真の右半分は炭化材の残りが悪く、材の形状や構造まで復元できるものは少ないことがわかりました。一方、昨年調査した範囲を含む左側は黄色土の残りも良く、構造や形状を示す炭化材資料が出る可能性が十分ありそうです。

（松田 功）

来運1遺跡見学会 8月7日（日）

1回目9:00~10:15 2回目10:30~11:45  
いずれも博物館集合解散 定員各60名  
参加費：200円（大人のみ）  
雨天の場合は、8/13（土）に順延。  
（13日が雨の場合は、中止です。）  
引率：松田 功 学芸員  
お早めにお申込み下さい。（01522-3-1256）



ウトロ遺跡



来運1遺跡

### 夏休み体験講座

- 8/ 9 はた織り体験
- 8/10 海岸の植物採集と標本作り
- 8/11 なんでも探検隊
- 8/12 石をみがいてみよう！

定員に余裕があれば大人の参加も可能。参加費大人のみ200円

ロビー展 はた織り会作品展  
9月13日（火）~25日（日）まで。  
（但し、19日・20日・23日は休館日）  
ロビー展のみの観覧は無料です。

期間中、はた織りの体験講座があります。  
9月17日（土）定員 20名  
1人30分 2名ずつ実施します。  
事前にお申込下さい。